

法人事業報告

I. 法人の活動状況

令和4年度も新型コロナウイルス感染が収束せず、施設の閉所や利用自粛が続き、事業活動や利用者の暮らしに大きな影響が出ました。職員や利用者には陽性者や濃厚接触者が発生し、感染防止対策を継続しました。施設の利用や移動支援等の利用を控えられたため、サービスの利用実績もコロナ感染拡大前と比べて減少しました。

令和4年2月に9名の利用者で開所したなないろは、卒業生等の新規利用者が大幅に増え、令和4年度末の契約者が23名となっております。重度の方の受け入れが期待される中で、一人ひとりに応じたきめ細やかな生活介護サービスの提供に努めました。

また、財政面では、令和元年度、2年度に比べると、収益状況は改善傾向に向かいました。施設整備や運転資金のための長期借入金の返済があるので、今後、法人全体での安定した経営が求められていきます。

(1) 地域福祉の確保

- ①関係者とともに将来構想を検討し、地域のニーズに応えるサービスを創出する。
- ②法人広報やホームページにより、関係者、関係機関、地域に、法人情報を広く公開しました。
- ③各事業においてボランティアの受け入れ、地域行事への参加により、地域交流を進めました。
- ④法人全体で作品展を開催し、各事業の創作活動で制作した作品の発表に機会を設けました。

(2) 事業（サービス）水準の向上

- ①職員の業務効率化と人事交流のため、グループホーム等の応援体制を積極的に進めました。
- ②職員の資質向上のため、研修の機会を充実しました。
- ③必要な資格取得のため、強度行動障害支援者研修等に参加しました。また、資格取得推進のため、キャリアアップ助成金制度を継続実施しました。
- ④自己申告書による職員の面談、勤務評価を継続しい、人材育成の機会としました。また、職員提案により、職員の意見を取り入れた改善の実施を検討しました。
- ⑤サービス自己評価を実施し、改善計画の実現に向けて検討しました。

(3) 利用者中心のサービスの確保

- ①虐待の防止のため、虐待防止委員会等による法人全体での取り組み（人権研修、各委員会の活性化、専門的力量的の向上、職員のストレス軽減等）を進めました。
- ②各事業において創作活動の機会を設け、作品展を開催しました。
- ③相談支援事業所において聞き取った個別ニーズや要望の共有に努めました。

(4) 安全管理の徹底

- ①法人全体の安全・衛生管理、防災、危機管理のマニュアルについては明確になっていないところもあり、検討課題となりました。
- ②事故報告等をもとに、交通安全等、職員としての安全管理の指導に努めました。
- ③新型コロナウイルス感染対策として、衛生管理を徹底するとともに、陽性者や濃厚接触者の発生に対処するため、自宅待機や事業の閉所等等の措置を図りました。

(5) 健全経営の確保

- ①経営会議を開催し、重要事項や基本ルールに関する決定について協議しました。
- ②職員の勤務管理を見直し、超過勤務やタイムカードの再点検を実施した。
- ③所長・管理者会議を開催し、各事業の課題解決や情報交換の機会にしました。

- ④各事業利用状況、介護報酬、就労支援事業収入の確認、分析を継続しました。新型コロナウイルスの影響により利用実績は減少しました。
- ⑤処遇改善手当の支給を継続するとともに、処遇改善特定加算の活用を継続しました。3月期末手当については、全体の決算状況により上乗せ支給ができませんでした。

Ⅱ. 令和4年度理事会・評議員会開催状況

- ・臨時理事会 5月12日(木)
議 題 調停合意書
- ・第1回 理事会 6月14日(火)
議 題 令和3年度 決算報告・事業報告 等
- ・臨時理事会 6月28日(火)
議 題 きぼう正規職員 懲戒解雇について
- ・第1回 評議員会 6月28日(火)
議 題 令和3年度 決算報告・事業報告 等
- ・第2回 理事会 10月26日(水)
報告事項 令和4年度 上半期予算執行状況、事業計画進捗状況等
- ・第3回 理事会 令和5年3月30日
議 題 令和4年度第補正予算
令和5年度事業計画、予算
第2回評議員会開催について
- ・第2回 評議員会 令和5年3月30日
議 題 令和4年度補正予算
令和4年度事業計画、令和4年度予算

Ⅲ. 県の指導監査等及び監査等の実施状況

社会福祉法人等指導監査 実施なし

障害福祉サービス実地指導 実施なし

監事監査 令和4年5月25日(令和3年度決算監査)

Ⅳ. その他

1. サービス自己評価の実施
 - ・令和5年3月実施、評価結果まとめ、改善計画策定
2. 広報発行
 - ・平成4年11月発行 広報委員会にて編集発行
3. 事業推進
 - ・後援会との連携を深め、支援事業や交流・啓発事業に取り組みました。
 - ・懇談会、交流行事等により、家族会との連携を深めました。(にぎやか塾、ポプリン)